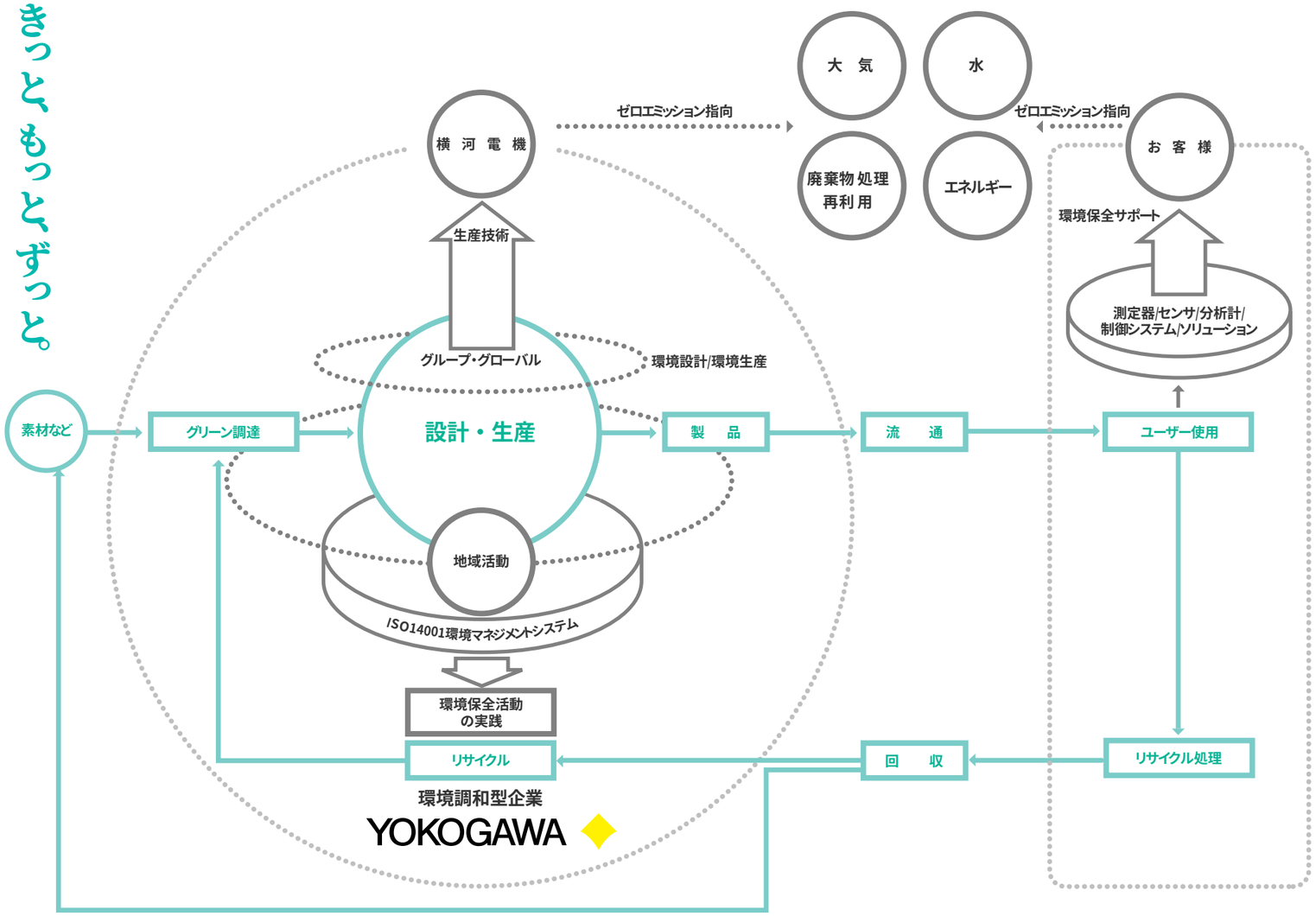
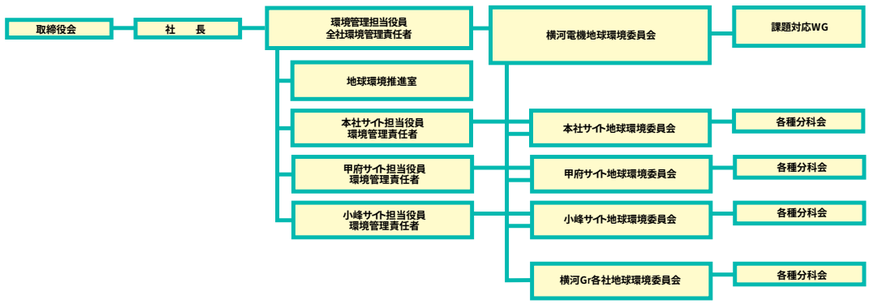
きっと、もっと、ずっと。
このビジョンを、横河電機はカタチにしていきます。





ISO14001に基づいた環境マネジメントシステムの構築をグループ・グローバルに推進する環境調和型企業、横河電機。最終目標であるゼロエミッションを実現するためには、社内活動ばかりでなく、お客様にご提供するシステムや製品のライフサイクル、さらには地域社会との関わりの中での環境保全というように、それぞれの局面での新たなコンセプトの立案と具体的アクションが欠かせません。ここで、その6つの柱をご紹介します。

[グループ・グローバル] 国内12社・海外6社のグループ製造各社が2000年までにISO14001認証取得完了を目指して名乗りを上げ、すでに中国で1社が認証を取得しました。さらに、この他の製造関連のグループ会社にもISO認証取得を目指すよう支援しています。

[環境調和型製品設計] 「製品設計における環境アセスメント」をグループ・グロバールに徹底し、今後は、この基準に合格した開発製品だけが出荷できるしくみを整備。さらに、エコマテリアル選定基準の制定、リサイクル設計、LCA設計へとスパイラルアップを行っていきます。

[環境調和型生産技術] 「生産設備開発・導入基準」もグループ関連会社に展開します。さらに「生産工程設計基準」にも取り組んでいます。

[環境調和型デスクワーク] 業務の電子情報化時代。もうひとつ忘れてならないのは、いわゆるソフト生産・システムエンジニアリング・営業業務などデスクワーク主体の業務においても紙消費の文化からペーパーレス化の新しい取り組みで成果を上げています。

[環境保全サポート] 豊富なノウハウをもとに、水、大気、エネルギー、廃棄物処理・リサイクルなどの分野で、環境計測・分析・制御のシステム製品を提供。また、ETS企業としてお客様の求めるソリューションに積極的にお応えしていきます。

[地域活動] 国母工業団地（甲府事業所）での協調活動、武蔵野市での「環境対策市民会議」への参加や緊急災害時の電力供給体制など、地域との共生を積極的に深めていきます。